大会名称: **第48回関東中学校バスケットボール大会**

開催場所: ALSOKぐんまアリーナ　Cコート

試合区分: No. 107 男子　第1回戦　　コミッショナー: 立花　正司　岡本　耕平

期　日: 2018(H30)年8月7日（火）　　主審: CC　伊藤　裕一

開始時間: 15:20　　副審: U1　阿久沢　尚夫　U2　三浦　丈太

終了時間: 16:40

大谷（神奈川）	○ 68	17 -1st- 14 17 -2nd- 17 12 -3rd- 18 22 -4th- 6 -OT1- -OT2- -OT3-	● 55	梅丘（東京）

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	半田 峻基	18	3	4	1	1	4	*	杉原 真央	5	1	1	0	4
5	*	黒岩 優揮	11	1	2	4	1	5		小林 晴樹	0	0	0	0	0
6	*	石川 陽翔	5	0	2	1	2	6		飯田 海月	0	0	0	0	1
7	*	市川 凌大	15	0	6	3	1	7	*	柳田 大斗	4	0	2	0	0
8		宇都木壮太	−	−	−	−	−	8	*	野村 康太	16	0	8	0	2
9		山本 悠輝	−	−	−	−	−	9	*	篠原 恒平	3	1	0	0	4
10		濵部 陽平	−	−	−	−	−	10		吉見健太郎	−	−	−	−	−
11	*	吉野 瑠希	19	0	8	3	1	11		米川 優人	−	−	−	−	−
12		鈴木　渚	−	−	−	−	−	12		酒井 健人	−	−	−	−	−
13		加藤 嘉輝	−	−	−	−	−	13		横堀　空	−	−	−	−	−
14		柴田 剛光	−	−	−	−	−	14	*	豊田 寛樹	4	0	2	0	2
15		成島 悠翔	−	−	−	−	−	15		至田 朱里	10	2	2	0	5
16		遠藤　崚	−	−	−	−	−	16		松本 理史	0	0	0	0	0
17		小野田 湊	−	−	−	−	−	18		小出 温斗	−	−	−	−	−
18		谷口 敬梧	−	−	−	−	−	24		石水　泰	13	0	6	1	0
コーチ		階本 健二					0	コーチ		染谷　久					0
		合計	68	4	22	12	6			合計	55	4	21	1	18

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

両チーム、ハーフコートマンツーマンDefでスタート。立ち上がり、固さの見られる梅丘に対し、大谷は＃4の連続3Pで流れを引き寄せる。梅丘も＃8がミドルシュートを決めるが、リズムをつかめず残り2分でタイムアウト。Defをオールコートマンツーマンに変えて立て直しを図る。17－14で第1P終了。

第2P開始1分、梅丘は＃24の果敢なドライブと＃15の3Pで逆転に成功。しかし、大谷の＃7のドライブと＃11への合わせによって再逆転する。その後も＃7、＃11が躍動するが、梅丘も全員がバランスよく得点していく。一進一退の攻防が続き、34－31大谷のリードで前半終了。

後半開始早々、＃5、＃6の連続得点によって大谷がペースをつかむ。リズムに乗れない梅丘はメンバーチェンジを繰り返し、多彩な攻撃で徐々に追い上げを図る。終了間際、＃4の3Pと＃24のドライブが決まって、46－49梅丘のリードで第3P終了。

第4P、大谷は＃4と＃11を中心にOffを組み立て、流れを引き戻す。梅丘はタイムアウトを要求し、速い展開に持ち込もうとオールコートマンツーマンに切り替える。しかし、ここで大谷＃4が3Pのバスケットカウント、ワンスローも決めて流れを引き寄せる。残り1分には＃5が勝負を決定づけるドライブを決め、逆転に次ぐ逆転の試合を68－55で大谷が制した。敗れはしたが、攻守共によく鍛えられ、最後まで諦めずに戦った梅丘にも拍手を送りたい。